

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 29 年 11 月 30 日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油焚貫流ボイラー及び A 重油焚熱媒ボイラーから ガス焚貫流ボイラー及びガス焚熱媒ボイラーへの更新 プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC0157
排出削減事業者名	ダイニック株式会社
排出削減共同実施事業者名	みずほ情報総研株式会社
事業実施場所	滋賀工場 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀 270
事業の概要	A 重油焚貫流ボイラー及び A 重油焚熱媒ボイラーをガス焚貫流ボイラー及びガス焚熱媒ボイラーへ更新する事により二酸化炭素排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	2008 年度-2016 年度：1,997 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 8,487 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2009 年 1 月 6 日 終了予定日 2017 年 1 月 5 日
排出削減方法論	方法論 001：ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2016年12月31日（第2回実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	7,291 tCO ₂ (2013年4月1日 ～ 2016年12月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、ダイニック株式会社において都市ガスを使用するボイラーが導入され、蒸気を自家消費していることを確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における都市ガスメーター記録により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。 4) その他、本事業の承認排出削減事業計画において、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法について、都市ガス使用量及びガス損失法に基づくボイラー効率の把握が承認排出削減事業計画どおりに実施されていることを確認した。 2) 都市ガス使用量について、メーターに基づく使用量が適切に記録され、使用量の把握・管理が確実になされていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っ

	<p>ており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4)その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2016年12月31日までであり、認証期間の終了日である2017年1月5日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネ量については原油換算 78.3kL であることを確認した。